

当法人が加盟しているCPD協議会について

1. 日本工学会CPD協議会 https://www.jfes.or.jp/_cpd/

1) 参加団体

日本工学会加盟団体のうち19団体

2) 目的

学協会相互の協力により、技術者の地位および職務能力の向上に資する活動を行う事を目的としています。

2. 建設系 CPD 協議会 <https://www.cpd-ccesa.org/>

1) 参加団体

建設業振興基金、建設コンサルタント協会、交通工学研究会、地盤工学会、森林・自然環境技術教育研究センター、全国上下水道コンサルタント協会、全国測量設計業協会連合会、全国土木施工管理技士会連合会、全日本建設技術協会、土質・地質技術者生涯学習協議会、土木学会、日本環境アセスメント協会、日本技術士会、日本建築士会連合会、日本コンクリート工学学会、日本造園学会、日本都市計画学会、農業農村工学会、空気調和・衛生工学会

2) 目的

建設系分野に係わる技術者の能力の維持・向上を支援するため、関係学会および協会間でのCPD(継続教育)の推進に係わる連絡や調整を図ることを目的としています。

3. 建築設備士関係団体CPD協議会(建築CPD運営会議) <https://www.jaeic.or.jp/>

1)参加団体

建築設備技術者会、電気設備学会、日本設備設計事務所協会連合会、建築技術教育普及センター、空気調和・衛生工学会

2)内容

- ・建築士および建築設備士などの資格所有者が参加できるCPD制度です。
- ・建築設備士関係団体CPD協議会参加者は、建築CPD運営会議にも参加登録となります。
- ・当法人の会員かつSHASE-CPD参加者のうち、建築設備士の資格保有者は、当学会経由で参加申し込みが可能です。当法人経由の参加を希望される方は、**550円(年間/税抜500円+消費税10%)**をご入金ください。SHASE-CPDにおける他の費用の支払いと併せて入金・申し込みいただくことも可能です。その後、i)振込受領書の写しなど入金が確認できるデータを添付、ii)建築設備士や建築士などの登録番号、木造建築士の登録都道府県と登録番号、または建築・電気工事・管工事施工管理技士(技師補も含む)の技術検定合格番号を記入した上で、cpd@shase.or.jpへメールにて申し込みの旨をご連絡ください。

なお、当法人経由で参加したが、その後当法人から退会した場合、建築設備士関係団体CPD協議会(建築CPD運営会議)も利用できなくなりますのでご注意ください。

- ・制度情報・履歴登録方法などの詳細は上記ウェブページよりご確認ください。